

2024. 2. 15

# 陸自幹部の参拝に抗議

## 靖国神社 宗教者・市民が声明



陸自幹部の靖国・宮古神社参拝に抗議する共同声明を出した宗教者ら14日、衆院第一議員会館

先月、陸上自衛隊の小林弘樹陸上幕僚副長ら幹部が靖国神社（東京都千代田区）に公用車で集団参拝した問題を受け、宗教者や市民が14日、衆院第一議員

会館で集会を開き、集団参拝に抗議する声明を発表しました。声明は平和をつくり出す宗教者ネットなどが呼びかけ、60の団体と243人の個人が賛同して

人々の自衛隊員が宮古神社（沖縄県宮古島市）に制服を着て、公用車で参拝したことに抗議しています。

「二つの自衛隊幹部による暴挙は、計画性も運動性も疑われる」とした上で、宗教施設への部隊参拝を禁じた防衛省の事務次官通達（1974年）に抵触すると指摘。「憲法20

条や89条にある『政教分離』の原則を破るものだ。さらなる戦争準備への軍靴の足音を感じずにはいられない」とし、「憲法の平和主義を遵守しなければならぬ」としていま

愛知宗教者九条の会の石川勇吉さんは、「靖国神社は、過去に国民を戦争に駆り立てるために存在していたことを忘れてはいけない」と強調。総がかり行動実行委員会共同代表の高田健さんは、「平和憲法を敵視する動きが強くなる中でこそ、『憲法を守ろう』の声を粘り強く上げていくことが大事だ」と強調しました。

ミサイル基地いらない宮古島住民連絡会の清水早子さん、集団参拝に抗議するメッセージを寄せました。日本共産党の穀田恵二衆院議員、参院会派「沖縄の風」の高良鉄美議員があいさつしました。